

11月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

102,307円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	19,187円
交通費(駐車場、燃料代)	11,156円
通信費(携帯電話代、折込代)	71,964円
支出計 18/11/1~18/11/30	102,307円

寄付 キタムラさん

100円

市政を考える

月刊武松

発行日
18/12/1

第178号

22500部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)

広域交流施設と周辺施設の接続

東口駐車場2階・広域交流施設3階とペデが段差なしに

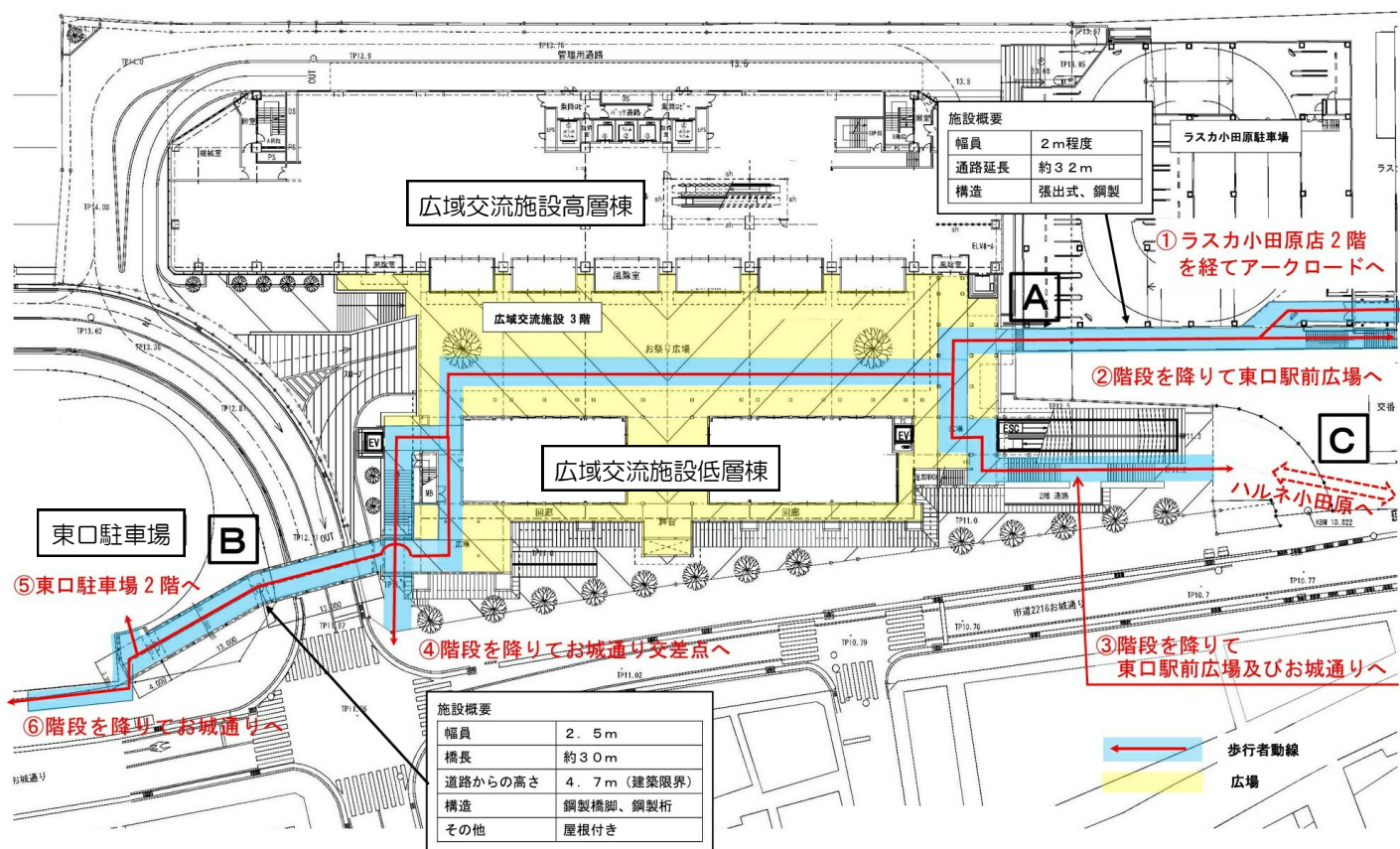


図1 広域交流施設と小田原駅周辺施設の接続(案)

お城通り地区再開発事業の小田原駅周辺施設の接続案が示されました。

■駅ビルとの接続について 図

- ・広域交流施設3階の広場から、建設中のラスカ駐車場施設を利用して駅ビルラスカの2階に接続する歩行者通路を整備する。
- ・歩行者通路は、湘南ステーションビル株式会社が整備、市が管理する方向で、協議を進めている。

■東口駐車場との接続について 図

- ・広域交流施設3階の広場と東口駐車場2階を接続する上空連絡通路整備する。
- ・上空連絡通路は、市の負担により整備・管理する方

向で、万葉倶楽部株式会社と協議を進めている。

- ・上空連絡通路は、屋根の設置を予定している。

■小田原地下街(ハルネ小田原)との接続について 図

- ・広域交流施設の駅側エントランス(階段エスカレータ)と、ハルネ小田原との間を結ぶ、地下通路(エスカレータ)整備に向けた検討を進めている。
- ・整備予定箇所には、地下埋設物が縦横に輻輳していることから、詳細な調査の後設計を行う。

これにより、東口駐車場2階と広域交流施設3階とペDESTリアンデッキが段差なく接続されます。

裏面に続く

東口駐車場との接続について

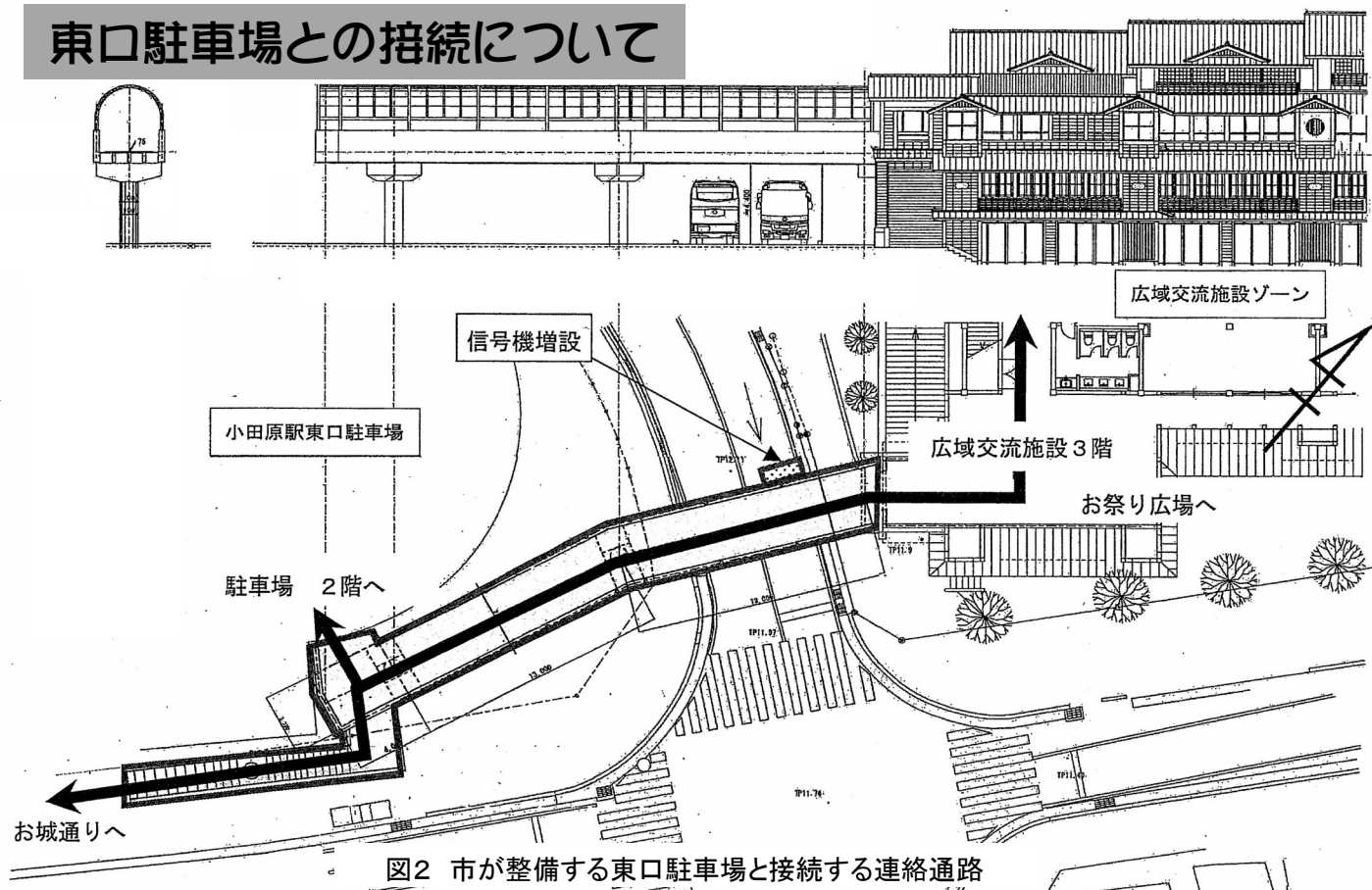


図2 市が整備する東口駐車場と接続する連絡通路

お城通り地区再開発事業の広域交流施設と東口駐車場を接続する連絡通路を図2に示します。

これは、前頁の通り市が整備することになっており市議会12月定例会に2ヵ年度の継続費の設定が提案されています。

表1 広域交流施設連絡通路事業費内訳 (万円)

	業務内訳	年割額	国庫	市債	一般財源
2018	調査・設計	5025	1609	1440	1977
	設置工事費	1億2000	6000	5400	600
2019	設置工事費	1億0000	5000	4500	500
	信号機増設	1200		900	300
	歩道復旧費	500			500

事業費は総額で 2億8725万円

うち国庫支出金 1億2609万円

市債 1億2240万円

一般財源 3876万円 となります。

約30mの連絡通路ですので、通路1m当たり約960万円になります。

なお、広域交流施設の地下1階は、**80台の駐車場**、高層棟1～2階部は吹き抜けの**観光バス乗降場**、高層棟10～13階**ホテル客室(173室)**、低層棟4階**ホテル客室(和室15室)**や、**商業店舗面積計2640㎡**の規模となり、小田原駅東口周辺の**交流人口増が、昼夜間共に期待されています。**

一方、死角の増加も想定されることから防犯対策やホームレス対策も必要です。

駅周辺が住み易くなるかは、課題があります。

武松忠議会報告会

12月の武松忠議会報告会について

日時場所 12/22(土) 18:00～ おだわら市民交流センターUMECO 会議室8

テーマ 「2018年を振り返って」 参加費 100円

終了後 実費で懇親会を行います。



twitter : @ttakemat

facebook: <https://www.facebook.com/tadashi.takematsu>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで